

インターンシップ型 スタディーツアー



一般財団法人 日本アジア振興財団 Japan Asia Promotion Foundation

2020 年春期 ベトナム・カンボジア

後援

国際機関日本アセアンセンター 在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館 在大阪カンボジア王国名誉領事館 在日本国カンボジア王国観光省

企画:一般財団法人 日本アジア振興財団 学生委員会

# ご挨拶



山田 英男 在大阪カンボジア王国名誉領事

## アジア諸国との懸け橋を担う

我が国は、カンボジアの発展のために大きな役割を果たしてきました。しかし今後は経済的な支援だけでなく、日本国内の若い方々がカンボジアに目を向け、現地の人々と直接関わり合いを持って各方面での振興を目的とした「人の支援」を行う事がより一層必要だと考えています。カンボジアの教育・文化・農業・経済など各方面での振興を目的とした活動やアジア諸国からの留学生支援・交流活動を行う日本アジア振興財団(JAPF)はカンボジアだけでなくアジア諸国との懸け橋を担うものであると確信しております。皆様方のより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



松岡 広隆 JAPF 代表理事 (元衆議院議員)

## 最も重要な要素は「人」である

JAPFは大使館・総領事館等の在日外国公館のご支援のもと発足し、今年で14年目を迎えます。日本アジア諸国の懸け橋となることを目的にタイ・ベトナム・カンボジア・フィリピンを中心としたインターンシップ派遣・保育園関連事業など国内外で人材育成・交流の活動を行ってまいりましたが、日本とアジア諸国が本当の意味で親交するために最も重要な要素は「人」であると考えられます。日本とアジア諸国との懸け橋になる「人」になるためのきっかけとして当財団のインターンシップに参加して頂けましたら幸いです。



倉田 菜奈子 学生委員会代表 <2018年夏期2ヵ国研修参加> 同志社大学 経済学部経済学科2年生

## 自分が普段見ていた世界はたった一部分

私がJAPFインターンシップ型スタディーツアーへの参加を決めたのは、カンボジアに行ってみたいという軽い持ちからでした。しかし現地で多くの研修先について一部と深めることで、自分が普段見ていた世界はたった一部は、かったのだということに気付きました。当得られているで参加しましたが、新たな気できないと思い、自分が研修もよりになりました。学生委員会スタッフは、自分が研修も多いで感じたワクワクした気持ちを常に忘れず、少しでも多いであいています。素敵な仲間と共に、学びにあふれたおりにあんでいます。素敵な仲間と共に、学びにあふれたおりにみませんか?皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



2006年8月 2007年8月 2009年10月 2013年10月 前身「日本アジア振興財団」発足 インターンシップ初開催 「Japan Asia Proactive Factor」に再編成 「一般財団法人日本アジア振興財団 Japan Asia Promotion Foundation」に変更



とは

2006年に在大阪カンボジア王国名誉領事館・在日本国カンボジア王国観光省・NPO法人カンボジア振興協会の後援・支援により発足しました。その後、大学生・大学院生を対象とする東南アジア諸国のインターンシップ事業を中心に活動を行うため再編され、2013年に運営の多角化に対応するべく一般財団法人日本アジア振興財団(JAPF)へと発展しました。発足より一貫してインターンシップ事業を行い、延べ人数 1000 名を超える修了生を輩出しました。

### 後援・支援

国際機関日本アセアンセンター 在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館 在大阪カンボジア王国名誉領事館 在日本国カンボジア王国観光省 タイ大使館商務省商務参事官事務所 フィリピン共和国観光省西日本支局 駐大阪大韓民国総領事館

# JAPF ならではの 7 つのこと

## ①日本唯一の公的機関後援

JAPF のインターンシップは領事館後援の下に行われています。公的団体との連携のもと企画されている為、安全性・信頼性が高いインターンシップです。

## ②多分野を総括的に研修

歴史を軸に平和·医療·教育·産業·文化·社会の6分野をカバー。多角的な視点を持つことでより理解が深まります。

## 3現地公的機関の訪問

後援団体のサポートにより、観光では訪れることのできない現地の公的機関、施設への訪問が可能です。

# 6 つの分野別研修内容



ベトナムに残されたベトナム戦争時の兵器や当時の写真、また 200~300 万人もが虐殺されたカンボジアのポルポト政治とその後 1991 年まで続いた内戦から、戦争の被害や影響を学びます。

例:戦争証跡博物館、平和村、 地雷博物館、キリングフィールド、 トゥールスレン収容所







国際支援の現状を学び、農村やゴミ 山を視察します。

例:国際協力機構 (JICA)、 農村、ゴミ山



現地で起業された日本人や観光省 職員の方よりお話を伺います。

例:カンボジア観光省、

KURATAペッパー、Sui-Joh

# 4修了証の発行

在大阪カンボジア王国名誉領事館より 現地調査研修修了証が発行されます。 公的機関の発行物なので就職活動で履歴 書に記載できます。

# 5事前オリエンテーション

事前オリエンテーションでは、参加者が現地で 安全に行動できるよう、情報共有や充実した研修 を行い、準備段階からサポートします。

# 6学生対象

全国の大学生、大学院生、留学生、専門学生、 延べ 1000 名がこれまで参加してきました。



医療現場を訪問し、カンボジア医療 の現状と課題を学びます。また医療支 援についても知ることができます。

例:コサマック病院、HIV 病棟、 サンライズジャパンホスピタル



教育支援団体の方から教育事情についてお話を伺い、現地学生と交流します。

例:TAYAMA 日本語学校、

アンコール大学、CIESF(教育支援団体)



(7)参加者の高い満足度

大変良い

62%

良い

33%

世界遺産アンコールワットで朝日を 観賞、天空の城ラピュタのモデルとなったタプロム遺跡などを巡り、歴史や 文化を学びます。ロリュオス遺跡では 実際に修復作業を体験し、プノンバケン遺跡から夕日を眺めます。

例:アンコール遺跡群

### 企画・お問合せ先:

(一財)日本アジア振興財団(JAPF)学生委員会 ※JAPF 学生委員会は本海外研修の企画を行っており、現地及び航空券の手配は旅行会 社にて実施しております。

# ベトナム・カンボジア2ヵ国研修

#### 研修スケジュール(過去実施例)

1日目       ・各空港からベトナム/ホーチミン・戦争証跡博物館・現地にて親睦会         2日目       ・平和村訪問	>
・現地にて親睦会	
2 日目・平和村訪問	
・クチトンネル	
・ペンタイン市場	
3 日目・国境越え (ベトナム→カンボジ	ア)
・現地病院	
4 日目 ・カンボジア王国観光省	
・トゥールスレン収容所	
・プノンペン王立大学	
・キリングフィールド	
5 日目 ・国際協力機構(JICA)	
・日本貿易振興機構(JETRO)	
・王宮	
6 日目 ・Sui-Joh	
・KURATA ペッパー	
・幼い難民を考える会(CYK)	
7日目 ・CCH 孤児院	
・バス移動	
(プノンペン→シェムリアップ)	
8日目 ・ゴミ山視察	
・アキラー地雷博物館	
・ナイトマーケット	
9 日目・農村視察	
・フリースクール	
・トンレサップ湖クルーズ	
10 日目・アンコールワット遺跡群	
・遺跡修復作業体験	
11 日目 ・グループでの自由行動	
・夜、空港へ	
12 日目 ・午前中、各空港に到着(帰国)	





### 募集要項

○名称:ベトナム・カンボジア 2 ヵ国研修

インターンシップ型スタディーツアー

〇日程:2020年2月16日(日)~27日(木)[12日間]

○最少実施人数:15名

○金額: 189,000円(消費税込み)

(含むもの)

往復航空券・現地移動交通費・宿泊費・

自由行動以外の食事代・研修費・現地添乗員費 (含まないもの)

出入国諸税・燃油特別付加運賃・空港施設使用料・ 国際観光旅客税・ビザ代・海外旅行保険料

○対象: 30歳以下の専門学校・大学・大学院在籍者

○登録申込締め切り: 2019年12月18日(水)必着

(先着順)

\*定員になり次第締め切らせて頂きます。 ご了承ください。

〇航空会社: ベトナム航空

〇出発空港: 関西国際空港・成田国際空港・

福岡空港・中部国際空港

## 【利用予定便】

	関西国際空港	成田空港	福岡空港	中部国際空港
2020.2/16(日)	10:30 発	09:30 発	10:30 発	10:00 発
往路	VN321 便	VN301 便	VN351 便	VN341 便
2020.2/27(木)	06:40 着	07:45 着	07:20 着	07:35 着
復路	VN330 便	VN300 便	VN356 便	VN340 便

# カンボジアーヵ国研修

### 研修スケジュール(過去実施例)

	- " ( Z A X N B 1/1)	
1日目	・各空港から	;
	カンボジア/プノンペンへ	-
	・現地にて親睦会	
2 日目	· Sui-Joh	(
	・トゥールスレン収容所	(
	・現地病院	(
	・イオンモール	
3 日目	・カンボジア王国観光省	
	・キリングフィールド	
	・セントラルマーケット	
	・プノンペン王立大学	
	・王宮	
4日目	・CCH 孤児院	
	・バス移動	
	(プノンペン→シェムリアップ)	
	・ナイトマーケット	
5 日目	・アンコールワット遺跡群	-
	・遺跡修復作業体験	(
6日目	・ゴミ山視察	
	・農村視察	
	・フリースクール	
	・トンレサップ湖クルーズ	
7日目	・アキラー地雷博物館	
	・グループでの自由行動	
	・夜、空港へ	
8日目	・午前中、各空港に到着(帰国)	

### 募集要項

○名称: カンボジア I ヵ国研修

インターンシップ型スタディーツアー

〇日程: 2020年3月1日(日)~8日(日)[8日間]

〇最少実施人数: 15名

○金額: 159,000円(消費税込み)

(含むもの)

往復航空券・現地移動交通費・宿泊費・ 自由行動以外の食事代・研修費・現地添乗員費

(含まないもの)

出入国諸税・燃油特別付加運賃・空港施設使用料・ 国際観光旅客税・ビザ代・海外旅行保険料

○対象: 30 歳以下の専門学校・大学・大学院在籍者 ○登録申込締め切り: 2019 年 12 月 25 日(水)必着

(先着順)

\*定員になり次第締め切らせて頂きます。 ご了承ください。

○航空会社: ベトナム航空

○出発空港: 関西国際空港・成田国際空港・

福岡空港・中部国際空港





カンボジア王国観光省は JAPF でしか行けない!



#### 関西国際空港 成田空港 福岡空港 中部国際空港 10:30 発 09:30 発 10:30 発 10:00 発 2020.3/1(日) 往路 VN321 便 VN301 便 VN351 便 VN341 便 2020.3/8(日) 07:00 着 07:45 着 07:20 着 07:35 着 復路 VN320 便 VN300 便 VN356 便 VN340 便

### 【利用予定便】

# インターンシップの流れ



## 説明会・資料請求

東京、大阪、京都、兵庫、名古屋、福岡にて説明会を開催しています。

個別説明会や資料請求についての詳細は HP を ご覧ください。



## お申込み

### 手順

① 登録申込書類のご提出

資料請求・説明会の資料から郵送申し込み or 当財団ホームページからネット申し込み

- ▶ベトナム・カンボジア 2 ヵ国研修提出期限→2019 年 12 月 18 日 (水) 必着
- ▶ カンボジア I ヵ国研修提出期限→2019年 12月 25日(水)必着
- ② 旅行会社宛お申し込み手続き ※郵送にてご案内します。
- ③ 参加費一部代金(3万円)のお振込み
- ④ 参加費残金のお振込み
- ⑤ パスポートコピーのご提出
  - ※未取得の方は早めの取得をお願い致します。申請~取得まで約2週間を要します。
- ⑥ ビザのご取得 ※申請~取得まで2営業日以上を要します。



## オリエンテーション&勉強会

お申込み完了後、オリエンテーションにて持ち物や注意 事項の確認、現地語講座等を行います。また、領事館主 催のカンボジア勉強会(関西のみ)も開催します。



## インターンシップ

公的機関を含む様々な分野の施設を訪問し、 現地の方々や参加者同士の交流を通じて、 一人一人に「気づき」の場を提供します。



## 修了式&事後研修

帰国後、論文をご提出頂いた方へ修了証書が発行 されます。また、参加者を中心に事後研修を企画・ 実施し研修後も学びを深めます。





# よくある質問

Q	現地語や英語が話せませんが、大丈夫ですか?
A	現地では日本語、現地語が話せる現地ガイドが常時同行します。研修先での説明や質疑応答は、ガイドを通じて行いますのでご安心ください。

Q	一人で参加したいのですが、大丈夫ですか?
A	例年一人で参加される方が大半です。また、海外渡航が初めての方もご参加頂いておりますのでご安心ください。

Q	現地で病気になってしまったら?
A	現地で病気や怪我をした場合、現地ガイド及びスタッフが英語の通じるインターナショナル病院までお連れします。

Q	食事、宿泊施設はどのようなものですか? 
Λ	自由行動以外の食事は事前調査をし、衛生面の基準をクリアしたレストランのみを利
$\mathbf{A}$	用します。また、現地では参加者全員にミネラルウォーターを配布します。宿泊施設は、
	3 ツ星以上のホテルになります。各部屋には Wi-Fi・バス・シャワー・トイレ・タオル等
	が完備されています。

Q	申込み完了後にキャンセルをしたい場合、
	どのような手続きを行えばいいですか?
A	キャンセルは、お電話またはメールでお受けいたします。なお、タイミングによって は、キャンセル料が発生する場合もありますので、予めご了承ください。

Q	現地の治安は大丈夫ですか?
A	各研修先の安全は事前に確認しております。また、現地滞在中に地雷原であるタイとの国境付近に近づく行程はありません。現地での自由時間は複数人での行動を義務化し、現地での安全性へ配慮しております。  *外務省の海外安全ホームページで世界各国の治安状況をご覧いただけます。 (http://www.anzen.mofa.go.jp/)

# 参加者の声

### ~2019 年春期 2 ヵ国研修参加~ 横尾 真希

(大分大学 経済学部経営システム学科2年)

参加したきっかけを教えてください。

学内のイベントで先輩がJAPFを紹介しているのを聞き知りました。以前から東南アジアの社会分野、経済分野に興味関心を抱いていたこともあり、その思いを行動に移すいい機会だと捉え参加することにしました。後援がしっかりしていることや大学にポスターが貼られていたことから不安要素が無くなり最終的な決め手に繋がりました。

### 実際に参加してみてどうでした?

スタディーツアーでは社会分野、産業分野を始め 6 分野に渡る研修先で多角的に学べ、自分が学びたかったこと + α も多く学べました。また支援や豊かさについてツアーの仲間たちとディスカッションを重ね、学生時代にしか味わえない青春を体験することができました。

#### 帰国後のこれから、この研修をどう活かしますか?

ツアー後も国際協力、国際支援等の分野に関心を持ち、イベント等を通してベトナムやカンボジアの現状、支援の本当の在り方などについて伝えています。そして、自分自身もツアーに参加した当時の熱い想いを絶やさず、学びの姿勢を忘れずにいます。

### ~2019 年春期 2 ヵ国研修参加~ 平山 双葉

(関西大学 政策創造学部政策学科 3 年)

#### 参加したきっかけを教えてください。

意味のある留学経験を持ちたいと思っていたからです。小学生の頃から国際協力というものに興味を持ち、一度は必ず現地に行って、何かアクションを起こしたいと考えていました。大学生になり JAPF のポスターを見て、I 日 I 日充実した内容で国際協力や開発について学べ、意味のある日々を送ることができると思い、参加を決めました。

#### 参加してみてどうでしたか?

自分の人生において、この 12 日間はターニングポイントだと言える瞬間になったと思っています。私たちの当たり前が当たり前でない世界で、今まで出会ったことのない人たちとたくさん出会って、過去を知り、現実を見て、未来を考える。そこで出会う考えには、自分以外の多様な考えが沢山ありました。そこで得たものは知識だけでなく、様々なものの考え方や、先入観にとらわれない多角的な目線など、これからの人生に必要な要素を得ることができたと思っています。

#### 帰国後のこれから、この研修をどう活かしますか?

国際協力のあり方や、支援のあり方について深く考えるようになりました。そのため、大学の授業でも国際協力や開発に関わる授業を取っています。本当の支援とは何なのかを大学で得る知識と共に、このツアーで見た景色や出会った現地の人々、学んだことを踏まえながら考えるようになりました。





# 学生委員会の活動

インターンシップ参加後の活動の場として学生委員会があります。学生委員会では インターンシップ参加から得た経験を外部に伝える機会を設けています。その中から いくつかご紹介いたします。





#### ◇ワン・ワールド・フェスティバル

毎年2月に大阪にて開催される、ワン・ワールド・フェスティバルに出展しています。西日本最大の国際協力・交流の祭典であり、毎年大いに盛り上がる、ワン・ワールド・フェスティバルに参加する事により、学生以外の人々に対しての広報活動を行っています。また他団体からの刺激をうけることは、当財団の更なる発展にもつながっています。

#### ◇グローバルユースデー

3月に名古屋にて開催される、グローバルユースデーに参加しています。グローバルに活躍している中高生以上の団体を対象とした交流イベントで、同イベントへの参加を通し、同世代の人々に対して広報活動を行うとともに、他団体から刺激を受け成長につなげています。

### ◇学生会議

定期的に、全国の学生委員とスタディーツアー に関する会議を開いています。また各ファクター に分かれての活動も行っており、電話での会議も 進めています。

### ◇カンボジア勉強会

スタディーツアーをより良いものにするため、東南アジアへの知識をより深めようと、定期的に勉強会を行い、意見を交換し合っています。

#### ◇財団設立記念式典

2013年11月には、外務省後援による財団記念式典が開催され、学生委員会を含めた修了生一同が参加しました。













### 【お問い合わせ・連絡先】

### 大阪事務所

<mark>〒530-0041 大阪市</mark>北区天神橋 2-5-25 若杉グランドビル本館 3F

TEL: 06-6351-6855 FAX: 06-6484-9422

### 東京連絡事務所

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 I-16-7 ハイウェービル 7F (在日本国カンボジア王国観光省内)

E-mail: studytour@japf.or.jp

### JAPF ホームページ http://www.japf.or.jp/



## JAPF 公式 LINE

@JAPF\_studytour



